

令和8年度

SSTA(ソニー科学教育研究会)福島支部

夏季研修会

東日本大震災から15年の歩みと未来へ

～あなたは子どもたちに「ふくしまの今と未来」何を語りますか～



研修会場(一部)



フタバ
スーパーゼロミル
Aコース



福島第一原子力
発電所
Bコース

限定20名

AコースまたはBコースに分かれての研修になります。

2026年8月

7日(金)・8日(土)

参加費 無料

宿泊や夕食をご希望の方は、別途料金が発生するため、金額は後日お知らせいたします。

場所 福島県 相双地区(浪江町・双葉町・大熊町)

申込 QRコードからお申込み下さい

申込期限 7/6(月)迄



[注意事項]

- 費用について : 施設見学は無料ですが、食事代・宿泊費等は参加形態に応じて別途実費がかかります。
- 1日参加について : 1日のみの参加も可能ですが、その場合の研修地から各駅への送迎は行えません(各自移動と宿泊なし) となります。

主催 SSTA福島支部
後援 福島県教育委員会

お問合せ

SSTA福島支部事務局(福島市立三河台小学校内)

Tel : 024-534-0161 (担当: 事務局長 福島市立三河台小学校教諭 野口 卓也)
Mail : r.ssta.fukushima@gmail.com

行程表

DAY
1

8月7日(金)

8:30 福島駅・郡山駅集合

車の相乗りを希望する方は、最寄りの駅へ集合してください。
※各自で移動される方は、東日本大震災・原子力災害伝承館に10:30集合をお願いします。

10:30 東日本大震災・原子力災害伝承館見学

東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故に関する様々な資料が展示されています。
その当時の人々の思いを知ったり、これからの福島県の復興の道筋を考えたりすることで、
福島県の過去・今・未来について考えてみましょう。

12:00 昼食

13:30～15:50

Aコース

- フタバスーパーゼロミル見学
(浅野燃糸株式会社)
- 震災遺構・双葉南小学校見学

福島の現状を見つめ、イノベーションコースト構想の最新科学技術を見学することで、震災被害から創造されてきた新しい技術や産業を学びましょう。

Bコース

- 福島第一原子力発電所見学

限定20名

震災から15年。福島第一原子力発電所の現状や進捗を知りましょう。

16:30 Jヴィレッジ 到着

17:15～18:30 講話（講師：菅野 篤司 様）

「震災から15年の歩みと未来への展望」

19:00 夕食（宿泊者のみ）



菅野 篤司 様

福島民友新聞社・論説副委員長
東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員

講師紹介

【震災後の略歴】

1974年 福島市生まれ

2011年3月 県政担当（災害対策本部）

2012年4月 東京支社報道部（国会や復興庁、原子力規制委員会）→論説委員→報道デスク（震災10年担当）

ふたば支社長（富岡町、楡葉町、広野町、川内村）

浜通り創生担当編集委員（浪江に駐在、浜通り全体の復興を担当）

震災当時は、県災害対策本部や避難で無人となった市町村の取材を行った。その後、6年東京に行き、復興政策ができる現場取材した。論説委員を経て、震災10年の特集紙面、連載などを担当した。震災当時の首長、政治家、官僚にインタビューした連載「証言あの時」は書籍化された。その後は、ふたば支社長と編集委員として、双葉地方に3年勤務した。

DAY
2

8月8日(土)

8:30 2日目研修開始

8:35 グループ協議

ふくしまの未来に向けた教育プラン構想についてグループ協議を行います。
震災から、さらに30年後の未来に向けて「私たちが教員としてどう生きるのか」を語り合い、
未来へのアクションプランを構想しましょう。

11:00 発表会

グループで構想した、ふくしまの未来に向けた教育プランについて、
「ワクワクする」「実際にできる」「新しい魅力発見」の3観点より投票を行います。

11:45 審査順位発表と講評：菅野 篤司 様

12:00 閉会行事

